

# 地域公共交通意見交換会（立花地区）

5月14日13時30分から、立花地区交流センターで、地域公共交通意見交換会が開催され、コミュニティバスに関する現状説明と、市と住民による意見交換が行われました。

## 概要

北上市企画部政策企画課より、あいさつと今回の意見交換会の趣旨説明がありました。

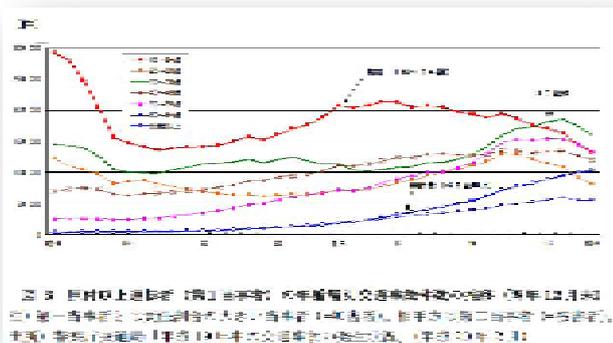
続いて、いわてNPO-NETサポートより

「バスを公共が担う理由として

### 1．地球環境・低炭素型社会の実現

1人の人間が動く際のCO<sub>2</sub>排出量がバスは車の3割程度

### 2．交通事故の年代別推移

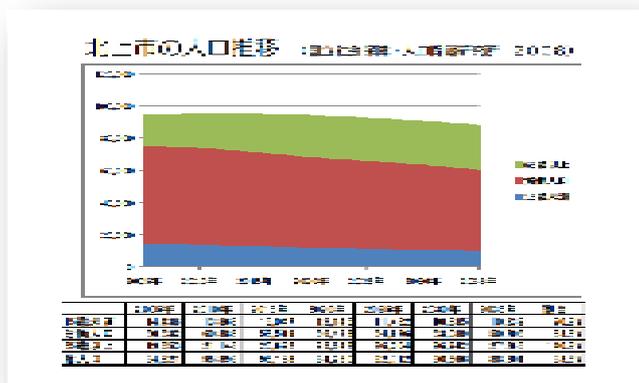


年々高齢者の事故率が上昇している

### 3．岩手県の人口推移

平成18年から30年間で岩手県の人口は、35万人減少（盛岡市と滝沢村を合わせたぐらいの人口）

### 4．北上市の人口推移



不況となり、だんだんと人口特に、（労働人口）は減ってきている。

### 5．国内旅客輸送量の分担率の変遷

乗用車が増えバスは減ってきている

### 6．バスの輸送人員の変遷

年々減少し、路線廃止も増加しているとの資料説明がありました。

その後、北上市企画部政策企画課より

「北上市では、21年度県立中部に繋がるコミュニティバスの路線が28000人乗ると見越していましたが、実際は22144人であり予定より約6000人少なく、金額にすると120万円の赤字の状況であります。

また、運行事業の収入内訳は利用者の運賃収入と市の補助金でまかなっています。昨年度の運行経費が、11,33万3千円でそのうち運賃収入は28%（金額にすると約300万円程度）

7割以上市の税金で補てんしています。

運行経費は人件費や車両整備費、ガソリン、自動車税などと県交通への管理費などが含まれています。

23年度運行の見通しとして、今までの運行を継続するのは難しいですがコミュニティバスが無くなるわけではありません。朝の第一便は、北上駅までの利用が多くそれ以降はほぼ使われていませんので、経路や運行曜日を大幅に変えることなく、効率的な運行を考えていきたいです。

今後、北上市の今後の公共交通のあり方として7月に勉強会をさせていただき10月頃からコミュニティバスの運行内容の変更についてまた皆さんと話し合いをし、23年度の変更内容をまとめていきたいです。」との現状説明がありました。

## 意見交換

説明が終わり、意見交換の時間には以下の意見が出されました。

- ・一般の人達はバスの料金は高いと思っているのか、安いと思っているのか
- ・コミュニティバスについて、無知で関心の低い人が多いと思うので、もっと継続的なPRをした方が良い。
- ・コミュニティバスを始めたころは利用者が多かったのに、だんだん利用者が減ってきたのはなぜだろう
- ・利用減少の原因は
- ・最初のころと曜日が変わった。それが減少の原因では
- ・実際に利用している人の声を聞くべき
- ・少人数であっても廃止は困る
- ・交通弱者がバスの利用方法を知らない。
- ・バス券など、事前に買えるようにした方が良い(小銭を出す手間が省ける)
- ・運行する曜日が変わり、利用者離れを助長したと思う。
- ・時刻表がわかりづらい。
- ・停留所の名前がわかりづらい。
- ・さくら野の周りのバス停の名前を「さくら野」にした方が良い。
- ・まちを活性化していく様なバスの仕組みを作った方が良い。例えば、コミュニティバスを利用した人は何かお得になるようなものを作るなど。
- ・タクシーを使うよりもバスで移動したいので、廃止になるのは困る



そして最後にいわてNPO-NEETサポートより「今日いただいた意見の中で今年度すぐにでもできることは進めさせていただき、来年度以降に関しても皆さんのアイデアを参考に、より使いやすかつ効果的な運行形態を検討していきたいと思います。」とのお話があり立花地区意見交換会が終了しました。

ちなみに他の地区ではこのような意見がありました。

- ・スクールバスを冬の間利用できればいいと思う
- ・朝一番の便が早すぎる
- ・乗り降りする人が少ないからといっても、バスが走っているのと走っていないのではだいぶ気持ちが違う。
- ・値上げしてもいいから家の近くまで来てほしい
- ・フリー区間では遠慮して手を挙げられない
- ・運転が乱暴な人がいる
- ・コミュニティバスについて、無知で関心の低い人が多いと思うのでもっと継続的なPRをした方が良い
- ・運行する曜日が変わり、利用者離れを助長したと思う

